



## ボランティアニュース

Vol. 194 2019年12月号

発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局

編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦興

〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 Tel.045-711-2351 (代表)

ホームページ <https://orangeclub.kcmcvolunteer.com>

e-mail [kcmcvolunteer@kanagawa-pho.jp](mailto:kcmcvolunteer@kanagawa-pho.jp)

「医師の会の先生方

ご寄付ありがとうございました。」

オレンジクラブ代表 三木美雪

本年度も、医師の会の先生方からオレンジクラブへ、10万円のご寄付をいただきました。こども医療センター医師の会の先生方いつも本当にありがとうございます。こども医療センター医師の会先生方は、オレンジクラブ最強の応援団です。オレンジクラブ一同いつも先生方に感謝しております。

今回は、感染免疫科今川智之先生から、総合待合に飾られたクリスマスツリーの下でご寄付をいただきました。5メートル程ある総合待合大型ツリーを飾るライトは、医師の会先生方からのご寄付のお陰で、新品LED電球色ライトを購入することができました。暖かみのある電球色のライトは、みんなの心を和ませてくれます。今川先生から、「病棟の廊下もクリスマス飾り付けになりましたね。」とお優しい言葉をかけていただきました。季節の飾りを気にかかっていた嬉しき気持ちになりました。クリスマス飾りはオレンジクラブの手芸グループ、アートディスプレイグループ、高所作業を下さる男性園芸グループ、そして飾り付けのたびに参加してくださるオレンジクラブボランティア、学生ボランティアで毎回力を合わせて行

っています。今年は、看護師さんと入院中のお子様も一緒にツリーを飾ってくれました。ありがとうございます。それでは、医師の会の先生方、そして患者様、患者様ご家族の皆様、こども医療センターのクリスマスをしばらくの間どうぞお楽しみ下さい。



「てとてとてとて」

手芸グループリーダー 谷内うらら

先日、絵本作家の浜田桂子先生の後援会に出席してきました。たくさんの絵本の紹介の中で「てとてとてとて」が心に残り、普段当たり前に使っている「て」って何だろう「て」は「ころ」をあらわしているというところに行きついたそうです。その数日後、ボランティア室を開けたらとても懐かしい人がいて、思わずハグして背中をとんとんと。クリスマス飾りを楽しみにして見に来たというのです。「飾れたね」「ありがとう」とはなしながら、背中のとんとんの「て」が、言葉以上に心を伝えてくれました。私たちの手芸クラブも、まさしくこの「てとてとて」だなあと思いました。今年は、星とトナカイと家を作りました。その形の中に、作り手それぞれが好きなものや風景など思いを巡らせて紡ぎます。月一回の集まりの時に、少しずつ少しずつ出来上がってくる作品を早く来た人から並べておきます。後から来た人が、「わー、これじゃ私のは出せない」「ワーカワイイ！」「すごい、ステキ！」外見からは想像もつかない感性の豊かさや発想の面白さ、その時間がみんな楽しみで、また刺激も沢山いただいで、次の集まりまで頑張ろう・・・とひそかに闘志を燃やしているに違いないと思っています。その「てとてとて」がつながって、みんな違っ



て、みんないい、の花を。この病院の大きなキヤンバスに今年も咲かせることが出来ました。絵本にも字がなくても語るものがあるように私たちの作品も皆さんと語ってくれたらうれしいです。ツリーの飾りつけの日、入院されている3人の男の子たちが飾りつけを手伝ってくれて、手芸仲間のてからてへと温かくやさしい時間がともうれしかったと伝えてくれました。きれいに飾れたね、ありがとう。お手伝いを頂いたボランティアさん、直接目にはみえていないところでも応援していただいている方々の「て」がつながって感謝です。『こころは「学ぶ」というより「感じていく」世界だよ。その「こころ」とはなんだと思いますか？それは「愛」です。』と教えて下さった方を思い出しました。あなたに楽しいクリスマスが訪れますように。こころを込めてメリークリスマス

廊下のクロスステッチの額2枚はメンバーのお一人の作品です。素晴らしいですね。追加ですが、浜田桂子先生は1月17日のNHK「あさいち」に出演されます。よかったら見て下さい。

全国小児医療施設ボランティアコーディネーターの会研修会に参加して

ぼぼんたリーダー 溝口明美

10月31日に埼玉県立小児医療センターに行ってきました。この病院は3年前に移転し、さいたま新都心えきから5分というアクセスのよい場所にあります。また隣には赤十字病院もあり、医療面でも連携しているそうです。ボランティアコーディネーターは2人体制で、ボランティアは移転時から始めたものが多いという事でした。

当日は2つのプレールームでの活動(月1回のおそびの日)、おかし屋マール(マルシェ)、屋上の園芸、縫製室、保育室、駐車場、壁面のクラフト等を見学しました。皆さんそれぞれ工夫して一生懸命活動されていました。折り紙を使った季節の折り紙リースや壁面の折り紙アート、おそびの日の手作りおもちゃや手作り感が一杯で、折り紙でこんなにいろいろなことができるのかと感心しました。おそびの日のコーナーでのご家族へのハンドトリートメントサービ

スもとても良いことだと思いました。

午後は交流会で活発な意見が交わされました。交流会の後宿泊施設のマクドナルドハウスを見学しました。ホテルのような部屋、花のあるベランダ、本の置いてある部屋、宿泊された方もリラックスされるのではと思いました。宿泊施設のボランティアは病院とは別に200人いるそうです。

会に参加して、コーディネーターの方が情報交換や問題を話し合ったりすることは、実際に活動する私たちを取り巻く環境をよくすることに繋がります。それは又、子どもたちやご家族のかたへのきめ細やかな活動に生かされていくのではないかと思いつながら病院を後にしました。



写真は、きょうだい預かりの部屋の見学の様子

## 外来ボランティア交流会を終えて

外来グループ 松永節子

11月16日(土)に、外来ボランティア交流会が行われました。前半に感染症対策の研修会があり、後半が懇親を兼ねた交流会で、参加者は12人でした。

感染症対策の研修会では、感染管理認定看護師の秋葉和秀さんから、正しい手洗いやマスクの着け方、吐物処理などについてとても分かりやすい話をいただきました。わかっている、知っていると思っていたかもしれません。基本的なことも、思い込みやひとりよがりのやり方では対策にならないという事がわかり有意義な研修でした。

そしてその後に、お茶とお菓子を頂きながらの交流会となりました。私たち外来ボランティアは、自分が希望した曜日と時間帯に活動しています。その為同じ外来ボランティアでも曜日が違っていれば会う事は少なく、名前も顔も知らないという事が多いのが現状です。この交流会は、そんな状況の中で、年々変化し増えていく情報を共有理解し、それぞれ持っている活動への意識や理解を共有、共感していきたいと計画されたものだと思います。

外来ボランティアの仕事は本当に多岐にわたっています。その手引書が作られ私たちの強い味方となっています。でも、手引書も無かった

時にボランティアを始めた私には一緒に活動してくださる仲間や先輩のボランティアさんが手引書でした。目に見える仕事だけでなく、活動に対する思いや姿勢を昼食を一緒にとったり、バザーや飾り付けの仕事をしたりする中で学ばせていただいたと感じています。この交流が12年外来ボランティアを続けられた力になっています。

話し合いの中で「外来ボランティアの役割とこのは何だろう」という話題が出ました。会に参加した方のお一人が「例えば何か話したいと思っているご家族の方がいつも気軽に話せる存在でありたいと思っています。」と話されました。「患者さんやご家族の思いを受けとめて寄り添う事ができるボランティアでありたい」とお話しされた方もいらっしゃいました。ボランティアアニュースの11月号で患者図書ボランティアの望月さんがおっしゃっていたことは「コミュニケーションをたくさんとって、相手が何を求めているのかいつも考えて・・・」につながる私たちの思いであると感じました。車の乗降のお手伝い、バギーの貸し出し、DVDの操作、折り紙、館内の案内等などの仕事だけではない私たちの役割、こういう話題をもっと広げていきたいと思えました。

外来ボランティアは、月1回外来ミーティングを行います。ボランティアだけでなく、外来



の看護科長さん、総務課のボランティア担当の方も参加してくださいます。このミーティングも外来ボランティアと子ども医療センターを問わずとも大切な場になっていきます。医療センターのことも知ることが出来たり、外来ボランティアに求められていることについて気付かされたり、ボランティア同士の情報交換の場としてとても意味あるミーティングです。外来ボランティア交流会を終えて、このミーティングの大切さにも改めて気づかされました。外来ボランティアのみなさんは、ぜひこのミーティングに参加してください。



初代フアシリティードッグベイリー肖像画  
 絵画グループの小山裕二さんがベイリーの肖像画を描きました。本館一階に飾っています。



横浜マラソンエキスポ2019・子ども医療センターブースにオレンジクラブも参加しました。



スマイリングホスピタルジャパンの本格落語会





ぼぼんたトピックス きくちゃん

11月に入り、インフルエンザが流行し始めた。今年は早いそう。子ども医療センターでのワクチン接種は12月中旬との事。キクちゃんは夫と共に近所の医者で済ませた。数年前、ワクチン不足で接種が遅くなり罹患が気になったので、早めの接種にしている。

ぼぼんた、は患児に接しているので、きをつけなければいけない。先日、子ども医療センターで「感染」について講演会があり、ぼぼんたのメンバーが参加して、ミーティングで内容を話してくれた。その内容中のマスク着用が気になる。

ぼぼんた、は病棟に入る時は丁寧な手洗いと常時マスクの着用だ。マスク着用の「おはなし会」はちよつと辛い。そのマスクだが、ぼぼんたの活動中、一つのマスクで一日中使用している訳で、「これでいいのだろうか？」疑問を感じはじめた。今まで気にしていなかったが病棟毎に取り換えるのか、病棟入室ごとのいいねいな手洗いはしているのにマスクはそのままだ。



月	火	水	木	金
2	3	4	5	6
おもちゃ/am5 南 ・pm5 西 チャリティーバ ザー	アートワーク/ 5 南	S 病院/5 西 ミューズエンゲル ス コールコンサート 重心、総合待合		横田基地サンズオ ブハワイサンタ訪 問 総合待合・HCU2・ 4 西(予定)
9	10	11	12	13
吊るし雛/ フットサル入院	園芸 おもちゃ(プレイ コナ ー) 岩見ファミリーコ ンサート 総合待合 14:30 こころ 15:30 頃	縫製 (ホラルーム) 手作り (ホラルーム) サガノバボンボン コンサート重心・ 総合待合	ミルクティ総合 待合 難病ネットサン タ訪問 (全病棟)	厚木基地サンタク ローズ訪問 総合待合・クリー ン・5 西・5 南 S 病院/クリーン
16	17	18	19	20
フットサル 外来	12月11日(水) 斎藤守也コンサート HCU214:00 重心 15:00	S 病院/5 西 縫製 (ホラルーム) こどもたちに贈る 声楽コンサート 総合待合 11:30	ステッカーアー ト/4 東、4 西、 クリーン 作業 (ホラルーム)	おもちゃ/am ハイ ア 2・pm4 西
23	24	25	26	27
	病院クラウ ン/am4 南、クリー ン・ pm4 西、総合待合 斎藤守也クリスマ スコンサート/ NICU 総合待合 17 時 園芸			S 病院/こ ころ
30	31			

- ・毎週月曜日 フラワーアレンジメント
- ・毎週火曜日 高野さんとピアノで歌おう！(10:00~10:40)
- ・毎週水曜日 ポポント
- ・毎週月、水、金曜日 きょうだい預かり(10:30~16:00)
- ・毎週火、金曜日 重心作業
- ・月~金曜日 患者図書室/外来 : ポポント 本貸出
- ・毎日曜日(13:30~15:30) チャイルドウイッシュきょうだい預かり
- ・火~金曜日(10:00~15:00) ピアサポーター

※28日(土) 9:00~お正月飾り

イラストはヨシタケシンスケさん

